



# 第21回定期大会開催

## 2020・2021年度運動方針を決定!

JAM京滋は9月21日にホテルグランヴィア京都において、第21回定期大会を代議員、傍聴、役員を含めて175名の参加で開催した。報告並びに全ての議案を執行部提案通り可決、採択した。また役員改選を行い2020年度・21年度の執行部体制を確立した。

新役員によるカンパロー三唱



御本執行委員長代表挨拶



提案された議案は全て承認された



### 連合「核兵器廃絶1,000万名署名」活動

ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・長崎、ノーモア・ヒバクシャ。この訴えは、核兵器廃絶と恒久平和を願う被爆国・日本国民の心の叫びです。しかし、核弾頭は未だに約14,450発(2018年6月現在)も存在し、核兵器の脅威から今なお人類は解放されていません。

連合は、核兵器不拡散条約(NPT)の再検討会議に合わせて、署名活動に取り組むことを決定し、JAMも連合構成組織の一員として、署名活動に協力していきます。(NPTとは、核兵器の開発、製造、保有を規制し、核兵器保有国の増加を防ぐことを主な目的とした条約であり、核の不拡、核軍縮の促進、原子力の平和利用を目指しています。)

核兵器廃絶と恒久平和の実現をめざして、「核兵器廃絶1,000万名署名」へのご協力をお願いします。

集約期日 11月29日

### 2019年台風19号災害被災救援カンパ

2019年10月12日に発生した台風19号により、河川の氾濫による浸水や、山沿いや川沿いでの土砂災害などが広い範囲で発生し、多くの方が亡くなりました。住宅被害は7万棟を超え、現在も避難生活をされている方が多数おられます。

JAMは被災者・被災地支援のため、10月14日に「2019年台風19号災害対策本部」を設置し、全国の被災状況の調査と把握を行っています。今回の災害に対し、人道主義の立場から救援カンパを広く全国の仲間呼びかけ、対応を図ることとなりました。カンパ金の使途としては、①連合が行うカンパ活動、②行政が行う募金、③日本赤十字が行う募金などへの対応にあてることを基本に、必要に応じて、JAMが行う救援活動の資金にあてることとします。ご協力をお願いします。

第1次集約 12月13日 最終集約 2020年1月17日

# 20周年記念レセプション開催

JAM京滋は9月21日に第21回定期大会に引き続きJAM結成20周年記念レセプションをホテルグランヴィア京都において開催。レセプションには来賓としてJAM本部並びに連合京都・滋賀、労働福祉事業団体、友好議員の皆さんらを招き盛大に執り行われた。

前原衆議院議員、福山参議院議員、嘉田参議院議員が臨席



記念レセプション会場風景



余興で行われたマリンバ演奏



### 労働協約取り組み方針

最重要課題

①JAM労働時間指針に沿った労働時間に関する取り組み

重点課題

- ①高年齢者雇用の取り組み
- ②多様な人材へ対する取り組み
- ③改正労働安全衛生法に対する対応と企業内労災補償協定の取り組み

要点検項目 (以下については、少なくとも現状の点検を行うべき課題とする。)

- ①賃金実態の把握と個別賃金要求の検討、企業内最低賃金協定の締結と引上げに向けた取り組み
- ②退職金・企業年金の保全状況の把握等について
- ③労働協約の債務条項の内容について

要求提出日 10月3日(木)まで 回答指定日 11月7日(木)まで

### 年末一時金闘争方針

要求基準

- ・年間5ヵ月基準または半期2.5ヵ月基準の要求とする。
- ・最低到達基準として、年間4ヵ月または半期2ヵ月とする。
- ・企業状況で業績の回復が遅れている組合については、前年実績を踏まえJAM京滋と相談の上

要求提出日 10月17日(木) 回答指定日 11月7日(木)